



子どもの

ネット
トラブル

支払い方法は大別して以下の6種類。①クレジットカード②携帯決済方式（携帯電話の料金と一緒）③コンビニで買える紙の専用カード、ギフトカード（iTunes Card、Google Playギフトカードなど）④電子マネー

ー(ウェブマネー、BitCash、Eddyなど)。コンビニで購入可)⑤コンビニ決済方式(コンビニ店頭のマルチメディア端末で購入可)⑥プリペイド式クレジットカード(前払いのクレジットカードを作成できるカード。コンビニで購入可) 大金を使ってしまう例の多くは②携帯決済方式。トラブルを防ぐには契約時に「携帯決済方式を認めない」契約にするのが良い。携帯ショップに行けば確認・変更ができるので、心配な方はすぐに行くことをお勧めする。

最近、心配なのが③以

コンビニのレジ近くにズ
ラッと掲げてあるこのカ

ゲーム課金の仕組み

心配なプリペイド式クレカ



ペイド式クレジットカード。例えば5000円＋手数料（数百円）で、5000円分のVISAカードが持ててしまう。ネット利用限定で1年間の期限がついたりするが、子どもでさえも任意名義のVISAカードが作れてしまうことはあまり知られていない。これを使

技術の進歩、サービスの多様化が悪いわけではない。子どもたちはそれを上手に利用しているだけだ。大人が子どもたちの行動に関心を持ち、何をしているのか、普段から細かなコミュニケーションを取り、それを活用する方法を共に考えていくことが大切だ。

え、ば、誰にも知られずに、
クレジットカードでしか
決済できないショッピング

グサイトでの買い物や、
大人向け有料サイトの利
用もできる。

「ウチの子はネットゲームにお金なんかかけていない」と親が思っても、コンビニに行けばさまざまな手段でネット上のお金を得られてしまうのが今の世の中。特に、子どもでも匿名のクレジット決済のカードが作れる事実、大人たちは関心を持つても良いと思う。

技術の進歩、サービスの多様化が悪いわけではない。子どもたちはそれを上手に利用しているだけだ。大人が子どもたちの行動に関心を持ち、何をしているのか、普段から細かなコミュニケーションを取り、それを活用する方法を共に考えていくことが大切だ。